

ひと・暮らし・
日々を紡ぐ。

ユトリエ

April
2019
4月号

“用の美”を感じる“衣”を
テーマにした風合いのあるウェア。
「pot-pourri」

流行を追うのではなく、
時代を把握しながら、
今を感じる色やアイテムに。
着る人の個性を引き出す、日常に生きる服です。



「pot-pourri」期間限定ショップ

■ 4月17日(水)～23日(火) ■ イベントルームB

※最終日は午後7時終了

2年程前から特殊な草木染めをする東京の染屋さんに協力いただき、ポタニカルダイシリーズを展開しています。天然素材に草木染めをすることで、どうしてもすみがちですが、「pot-pourri」(ポプリ)のお洋服は発色が美しく、深みのある明るい色が魅力。

今シーズンは、椿、スイートピー、藤、ブルーベリーから抽出した色で、清涼感のある春ものを展開。夏には、パールから色素を抽出した染めのシリーズも登場するそう。楽しみですね。

天然の風合いをどう生かせるのか。そのよさを引き出すために、メンバーが日々アイデアを出し合います。

天然素材の持つ豊かな風合いを生かしながら、ひとつひとつ紡ぎ出される洋服。デザイナー・企画、そして営業も務める中島慶一さん。お父様が30年以上前から手がけられてきた「(株)ポプリ企画」を受け継ぐために福岡に戻ってこられたのは、約3年前のことです。

先代から大切にしている天然素材の生地を持つ風合いの良さ、袖を通してはじめてわかる着心地の良さを守りながらも、色の美しさも心がけているそう。通常の草木染めでは表現できない鮮やかで深みのある色を出すために、

素材の風合いも色も、
天然の良さを生かすために。

「pot-pourri」中島 慶一さん



Hankyu